

## 閑上地区まちづくり協議会 世話役会(121) 議事録

日 時	平成 29 年 9 月 5 日 (火) 18:30~21:00
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生勉、(副代表) 今野義正、阿部ひで、(事務局長) 今野慎介、南部比呂志、庄司則雄、千葉ひろこ (事務局) コンサルタント 2 名
オブザーバー	市職員 復興区画整理課 2 名、生活再建支援課 1 名、傍聴 1 名
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有について 2. その他
資 料	資料-0 次第、第 120 回世話役会議事録案 資料-1 集会所基本計画図 地域活動伺い簿 資料-2 水辺で BBQ パンフレット案 復興マラソン連絡協議会説明資料 (抜粋) 資料-3 支援団体意見交換会参加者リスト

### ○ 協議要旨

#### 0. 事前確認について

##### <議事録確認>

- ・第 120 回世話役会議事録は一部修正し、確定した。

##### <市からの情報提供>

- ・ワークショップで検討された計画図が紹介された。住民周知のチラシを作る際に、利用の仕方や住民が取り組むべき内容などに配慮して周知して欲しいとの話があった。
- ・集合住宅の組織設立準備会と支援者連絡会の開催について説明があり、在宅被災者についても支援団体に配慮して欲しいとの話があった。

#### 1. 情報受発信について

- ・住所変更届の状況について報告があった。
- ・すでに地区内に **300** 戸以上の方が戻ってきているとの話があった。

#### 2. 地域活動について

- ・地域活動参加伺い簿については、必要性について疑義があるものの、世話役の情報共有という形で整理するにとどめることとした。
- ・まち協の今後のあり方については、年度末に向けて総括し、必要に応じて集中した議論も行うものとした。

#### 3. その他

- ・地区民運動会にまち協のブースを設置し、**VR** の上映とパンフレットの配布を行うこととした。
- ・復興マラソンの説明会の日程、まちなか再生協議会参加の報告、ミズベリング、高野山僧侶の来訪などの紹介があった。
- ・建売住宅の敷地規模の件や西団地付近の墓地など危険箇所での子供の遊びについて話があった。

## <次回世話役会>

- ・次回世話役会は9月19日（火）とする。

次回予定:世話役会(122)9/19(火)18:30～

以下、世話役会の主な意見について記載する。

## 0. 事前確認

### 資料-0 第120回世話役会議事録案

#### <議事録の確認>

- ・第120回世話役会議事録は一部修正し、確定した。

#### <名取市の情報提供>

(県道東側の集会所等について)

→集会所の基本計画図について、3回の意見交換会をへて概ね決まった。ポケットパークとの一体利用や集会室をなるべく大きくすること、トイレのプライバシーの確保、小上がりのある着替えの場所にもなる部屋の確保について配慮した計画となった。今後は、周辺住民に対して、集会所整備の周知や住民相互の顔合わせを企画している。10月に開催予定で、親睦を深める場所の候補として閑上公民館を考えているが、生活再建支援課と調整中である。戸建公営住宅と防集団地の人たちなど、周辺住民にアンケートも実施し、参加しやすいコミュニティ活動への誘導も検討中である。複数回の顔合わせを行いつつ、組織設立の準備会開催に向けて、活動を仕掛けていく。戸建公営住宅の人でもできる限り参加させたいと考えている。(市)

- ・どこの集会所？
- ・県道東側の防集団地の集会所のことだろう。
- ・3回で何人参加したのか？

→6名、5名、4名の計15名である。(市)

・使われ方などを検討したか？使い方のイメージも必要だと思う。こういうことができるとの案内なども必要ではないのか？

→周知のチラシを作っている中で、その中で踊り、そろばん、カラオケなどの活動の話もあったことなどをちりばめていくことを検討する。(市)

- ・収納がたりているのか？
- ・美田園北の収納扉は悪い。蛇腹の取り扱い次第なのだが。
- ・何をしまうのかイメージして検討すべき。
- ・図面の右側は広場？

→そうだ、土である。(市)

・公民館でも話があったが、ボール遊びなどについても、ルール作りを検討したほうがよいのでは？それも含めてPRについても必要だと思う。

- ・ゲートボールなどもするのだろうか？
- ・風が強いので、どうするのか？
- ・砂が飛ばないように工夫も必要か。

→会議では、草刈をだれがする？どう管理するかが話題となっていた。(市)

- ・ほこりは我慢するとか？

→草の生えない土はないと思うので。(市)

- ・メリット、デメリットの説明も必要だ。
- ・草を植える方向で、草刈を誘導するなど、町会でも人が集まる。
- ・美田園北は掃除が一番人は集まる。
- ・那智が丘では、落ち葉拾いとしてごみ袋の提供を市が行い、住民が手を動かしている。
- ・実現可能性は？

→100%である。(市)

- ・ポケットパークとの一体利用ができるのか？集会所とポケットパークの管理の市の部門は？

→現在は、ポケットパークは復興区画整理課、集会所は復興まちづくり課となっている。(市)

→集会室3の見直しが肝だった。(市)

- ・和室はいるはず。
- ・防災倉庫は建物に寄ったほうが使い勝手が良い。

→参加者の利用形態についての意見は反映している。集会所の利用は、まだイメージできないと思う。(市)

### <生活再建支援課からの情報提供>

#### (災害公営住宅第1期集合住宅の管理組合設立準備会について)

→集合住宅の管理組合の設立準備会の第3回を8月31日にやった。9月頭に総会開催を企画したが、準備会のメンバーの話し合いや管理組規約について、集会所の取扱、管理費徴収などで検討中であり、役員の役割分担も保留中となっており、加えて組合長などの役割や分担なども検討しているので、設立総会の開催は先延ばしされている状況である。近々役員相互の顔合わせなども予定している。第4回目を9月11日前後に開催の予定があるが、何回かの準備会を経ても総会開催はまだ無理そうなので、役割などを明確にしつつ、総会の進め方の流れも含めて、大まかな部分はきまっているが、なお詳細部分で2回ほど会議が必要と感じている。だが、できれば9月中に総会を開催する予定と考えているが、準備会での検討次第では、もう少しずれ込む可能性もある。(市)

#### (支援者の会について)

→支援者の会の意見交換会を7月21日に開催した。目的は住民主体の地域づくりとして、支援団体が何をすべきかを検討することが目的となっている。開催の経緯は、今年度、来年度が入居のピークであるものの、自治組織が設立されていない状況で、従来は自治会が支援団体の活動の受け皿だったが、窓口ができていない状況にあり、支援者がおのおのしても、住民がイベント疲れや日程の重複による住民の分散化なども予想される懸念などもあり、生活再建支援課の方で、支援団体から会議を設けてほしいとの話があった。住民が望む地域づくり、支援の仕方について、意見交換しながら、住民総意の意見がなにで、支援者が関わるべき活動は何かについて、活動の調整などもできるように会議を進めていきたい。その場での意見としては、住民主体とするなら住民の思いが重要で、それがないと支援の中身なども決まらないとの意見もあった。次回は、住民の要望を把握するということで、住民と接する中で得られる情報として、シートを決めて、ニーズを整理し、活動を対応させ、心がけなどを情報共有していきたいと考えている。団体に対してアンケートをとり、第2回の会議開催をしたいと考えている。(市)

- ・住民ニーズについては、在宅被災者などには聞いてないのでは？

→閑上地区内に限定してやるとして提案したが、自治会がないので、住民合意形成できないということが背景としてある。閑上の全体をみるのか、区画整理の場なのか、コミュニティのないところで取り組むということを進めてはいるが、閑上だけでいいのかということはある。(市)

・災害公営住宅の集合第1期、第2期の戸建て、第1期の戸建ても含むのか？

→含まれる。(市)

・在宅はどうなる？情報を提供してもらいたい。デリケートな部分もあるので、支援団体にその雰囲気を理解してほしい。

→支援者も理解はしているようだ。全体のどこまで広げることがいいのかは苦慮している。(市)

・全体を誰が、どこまで情報を把握しているのか？

→生活再建支援課が参加団体に誘導する団体ではない。支援者相互で話し合う場の提供というスタンスである。事務局は誰か、コーディネートはだれか、ファシリは社協かということではない。すぐにはできない、時間をかけて進めていく。(市)

・時間のかけすぎはいけない。

→すみやかにしていく。閑上にかかわる支援者の活動を第2回にボリューム感や重複やスケジュール調整などをイメージし、実際、集会所の利用のルールもなく、すぐには調整の場ができない。

(市)

・何をやっているのかわからない。会の名前は？

→対象範囲の問題で名称も意見が出ている。(市)

・対象は閑上なのか、名取なのか、まだ？

→閑上地区での直接支援する団体としている。(市)

・実際どのような団体なのか？

→名簿を提供する。(市)

・支援者の会については、半年前にもらっているかもしれない。

・住民のニーズというが、応援団としてやっているその話を集めているというのが実態である。

・美田園北団地の祭りを参加した方が、閑上でもしたいといっている。

・支援者側の情報交換会ということで理解する。

・日程の調整などもできればと考える。

・住民がたよりすぎることが危惧される。

→どういう住民への支援が適切なのかを、相互監視なども踏まえ、支援のやり方については、住民主体で住民に力をつけてもらうことが重要という理解だ。(市)

・いつでも市民の相談を受けてもらえればいいと思う。

## 1. 情報受発信について

→8月に会員向けに配布した住所変更届だが、110ぐらい返ってきている。そのうち住所変更者は1/3である。世話役でも回収できていない方もあるのだが、それぞれが引越しを予定しているので、手元に暖めている方も多いので、臨機応変に対応していきたい。(事務局)

・7月末にリーフレットを第2期団地や防集団地には配布している。集合住宅の全戸にもポストイングした。

・南区で184世帯になった。2世帯住宅なども世帯ごとに配布している。

→北区は130世帯ぐらい、太子堂、新町頭、西団地含めてである。(市)

## 2. 地域活動について

→世話役会の会議進行を踏まえると、まち協で議論することを明確にしていくことが大事な時期であると考えている。その中で、世話役が現在どのような組織や市からの要請、支援団体への関与をしているのか確認し、会議の中で各世話役に任せられること、議論して世話役に託すこと、

提案としてまとめること、などの区分けをして、スムーズな会議進行と効率的な世話役会の運営に活かしたいと考えることから、伺い簿を作成した。協力願いたい。(事務局)

- ・必要性について少し懐疑的だ。
  - ・なんのために必要なかわからない。
  - ・関わっている活動のことが伝わらず、記録として残らない可能性もあるので、そういう意味で情報共有していったらどうかと思う。
  - ・世話役の情報共有として伺い簿の作成については、簡単にも考えられる。
- 現在の活動に関わるだけでなく、次の世代にむけた街のあり方について、議論する環境も重要である。(事務局)
- ・関わっている活動がまち協活動とは違うものだと思うので、参加活動を整理することに意味があるのだろうか？
  - ・美田園北は町内会がしっかりしているので、祭りなどで連帯を強めるイベントになっている。その経験を元に、高柳の住民からも要請される。したがって、閑上の集合住宅でやれば喜ぶのではないかという風に考えられる。コミュニティができればより多くの住民が戻ってくるのではということが期待されているが、自治会がないので、まち協にその様な経験や意見をいって、行政の助成、町内会の組成、イベントの実施などの実現に向けた情報共有できる場とまち協を考えている。
  - ・まち協はつなぐことが大事、生活が始まっているので。
  - ・仮設住宅での支援なれもあるが、今の閑上には窓口がない、支援者団体が活動する上で、だれがまとめるのか？
  - ・その行動をどのようにまとめていくのか、できない活動もある。
  - ・まち協の提案としては、将来につながることをテーマとしてパンフレットに記載されており、それらを先導的に進めるためのイニシアティブをとるべきだし、住民に声かけ、旗振りする役が望ましいのではないかとあるいは、どうやってやればいいかわからないとの住民意見を吸い上げ、まち協がその受け皿として担うべきではないか？
  - ・事務局支援や資金力など、今後1,2年で補助がなくなる中で、まち協のあり方も検討が必要だ。旗振り役もまち協の役割になりえる。
  - ・宇佐美さんに負担がかかりすぎかもしれない。
  - ・世話役での役割を整理していくしかない時期かもしれない。
  - ・まち協としてのコミュニケーションの活性化、世話役の活動の制限などもあり、役割の分担についてもイメージ検討していくこともある。
  - ・まち協の役割、終着点も検討が必要。
  - ・期間を決めて検討していくべきだと思う。
  - ・住民支援などもまち協のフットワークが軽ければやれると思う。
  - ・世話役会の開催期間が開きすぎている部分もある。会議の中で市への意見を言えないのもどうかと思う。
  - ・まち協のメンバーとして呼ばれていることもあるし、まち協としてではなく、他の団体をやっていることもある。
  - ・まち協の開催頻度も問題だが、検討範囲が広がったり、議論の中身も検討時間もなくなっているのも事実だ。意見も言いたい、会議の場でのいきなりのお願いはできないはずだ。課題を認識して、住民目線で整理して、提案していくことが建前だ。個人的な要請をこの場でいっている部分もあり、気をつける必要がある。そういう意味で頻度上げるということで、毎週やること

もありえる。

- ・毎週やることで、すべてが解決することでもない。
- ・総括しつつ、方向性を見出す必要がある。

→今後、先進地視察もあるので、地域自治活動も学べるし、気がつくこともあるので、準備も必要と事務局も考えている。(事務局)

- ・情報提供について意見を聞いた場合、どうしても話を聞いたことが、意見を言う場所になってしまっているなら、それは違うかもしれない。
- ・まち協からの意見が参考になるのだろうか？
- ・会議の場面でQ&Aはあるが、いきなりの提案はだめだろう。
- ・まち協活動が曲がり角には来ている。
- ・議論していくメンバーを増やすことも必要だ。水産加工団地、かわまちエリアへの出店者なども、ぜひともまち協に入ってもらいたい。
- ・どうやってそれらを巻き込むかも検討課題だ。
- ・住民の意見も最近では直接聞いていない。交流人口の増加などへの対策も議論していないような気がする。
- ・まち協としてどうつなぐか、実際、動いている活動や現場などもある。
- ・これまでのことや今後の課題をも含めて、年度末までに総括しつつ、整理したらどうか？
- ・時間をかけて討論することも必要ではある。

→世話役会で勉強会を開催することもありえる。宮城連携センターからの技術支援も可能性があるがあるので、話してみる。(事務局)

### 3. その他

#### <地区民運動会について>

- ・会場でのまち協のPRの件は？
- ・外周のテントでまち協ブースを設置していいかどうか聞いてみた。一応いいみたいだ。
- ・地区民運動会自体も公民館の体育部会として参加者を募っているらしい。
- ・公営住宅の集合住宅、戸建公営住宅、防集団地の住民に対しても、参加要請をしている。
- ・丘区との交流がなかったので、地区民運動会で一緒に交流して昔の形に戻る方向で進めていつている。
- ・任意参加という形なので、人が集まらない可能性があり、行政区の担当範囲なので、協力してほしい。

→事務局としてVRの上映、パンフレットの配布での対応を整理してみる。(事務局)

- ・パンフレットを普通印刷で用意し、春祭りのVRやかわまちのVR上映も検討する。
- ・開催時間は9月24日の9:00から12:00程度まで

#### <そのほか>

- ・小中学校一体の運動会が行われる。

#### <復興マラソン>

・説明会に参加してほしい。ボランティアがまだ40名足りないが、中学校や小学校のPTAの登録ができていなかったなので、登録して参加する予定だ。

### <ミズベリング>

・世話役2名出ているが、そんなに大きな活動支援はないので、企画参加程度でいいのではないかと思う。

### <10月11日高野山僧侶の来訪>

・閑上のバス見学なども100名程度用意している。

### <まちなか再生協議会>

- ・8月28日名取市で第1回が開催された。
  - ・東北大学の平野先生はじめ、9団体、商工会、閑上商工会、水産加工団地、まちづくり会社準備会、物産協議会、七十七銀行、まちづくり協議会、上町町内会の代表が参加した。
  - ・閑上地区における商業再建、交流人口拡大に向けた市の計画策定と意見の取りまとめが会議の目的となる。
  - ・会議では基本方針の中間報告の説明された、将来人口は4000名程度、当初の倍の計画でも、銀行や商業が成り立たないことから、それ以上の定住人口増加の施策に織り込むべきとの話を中心だった。
  - ・それ以外に、中間報告に関する参加者の意見が出された。
  - ・10月10日、11月6日の後2回で最終の計画のまとめをする予定。
  - ・住民側としての意見を言う役割だろう。
  - ・グループ補助金の獲得が重要。意見を求めている。その整理をするべきだと思う。
  - ・中間報告を市の担当課から説明をもらったかどうか？
- 検討する。(市)

### <閑上地区内の建売住宅>

- ・建売について地区計画の水準を確保しているのか？
- 地区計画の基準で最低規模はない。説明会で意見が多くて撤廃した。(市)
- ・200㎡はクリアしている。
  - ・見た目の問題だ。
  - ・地区計画として200㎡を最低規模としたはずだが、消えたことを気がついていなかった。
  - ・定住人口の増加が期待できる。
  - ・中央公園の脇は売れた？
- まだだ。(市)
- ・公営住宅の将来の取扱も含めて、公営住宅の今後の活用策も検討課題だ。

### <西団地の公園について>

- ・平成30年ごろの整備だが、墓地での子供の遊びに苦情がでている。
- ・ちびっこの遊び場問題の対策は必要。
- ・対策をしないといけない。
- ・児童センターなどの行政部局の取り組みも必要ではないだろうか？

以上

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は9月19日（火）とする。

次回予定:世話役会(122)9/19(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室